

30 データサイエンスプラン

認証状の名称(日本語名)		データサイエンス							
<p>(認証の教育目標と社会的意義)</p> <p>情報通信社会の到来によって大量のデータが日々生産・交換され、互いの関係は非常に複雑になっている。そうしたデータの中に潜む有益な情報を見つけ出し、ビジネスに活かして新しい価値やサービスを創出したり、生活に取り入れて健康で豊かに生きることを支援したりする試みが始まっている。本プランはデータサイエンスの基本要素となる科目を学ぶことにより、数理的思考とデータ分析に基づいて様々な問題を解決できる人材を育成する。</p>									
<p>(認証取得後の目的・目指せる道・資格等)</p> <p>①データを収集・分析し、数理的思考に基づいて社会の様々な課題を解決する。 ②データサイエンティスト、アクチュアリー、データアナリストになることを目指す。</p>									
<p>(認証取得条件)</p> <p>授業科目群56単位の中から、必修科目8単位(60時間)、選択必修科目1~2単位(15時間)以上を含めて、14~16単位(120時間)以上を修得すること。 ※本プランは、学校教育法に基づく「総時間数120時間以上」という認証取得条件を設定しています。 ◎:必修科目、○:選択必修科目、無印:選択科目</p>									
授業科目群の構成									
	科目名	テレビ /ラジオ	科目 区分	分野もしくは 専攻名	単位数	時間数	必修 科目等	履修 制限	備考
1	数値の処理と数値解析('14)	R	専門	情報	2	15	◎	無	
2	データの分析と知識発見('16) データからの知識発見('12)	T	専門	情報	2	15	◎	有	
3	データベース('17)	T	専門	情報	2	15	◎	無	
4	マーケティング論('17)	T	専門	社会と産業	2	15	◎	無	
5	ユーザ調査法('16) 情報機器利用者の調査法('12)	T	専門	情報	2	15	○	有	
6	感性工学入門('16) 【1単位】	オンライン	専門	情報	1	15	○	無	
7	身近な統計('18) 身近な統計('12)、身近な統計('07)	T	基盤	基盤科目	2	15		有	
8	ケースで学ぶ現代経営学('12)	T	専門	社会と産業	2	15		無	
9	データ構造とプログラミング('18) データ構造とプログラミング('13)	T		情報	2	15		有	
10	統計学('13) 統計学('09)	R	専門	自然と環境	2	15		有	
11	経済学入門('13)	R	共通	社会と産業	2	15		無	
12	現代経済学('13)	T	専門	社会と産業	2	15		無	
13	入門線型代数('14) 入門線型代数('09)、線型代数入門('03)	T	共通	自然と環境	2	15		有	
14	社会調査の基礎('15) 社会調査('09)、社会調査('05)	T	共通	社会と産業	2	15		有	
15	進化する情報社会('15) 進化する情報社会('11)	T	総合	情報	2	15		有	
16	自然言語処理('15)	R	専門	情報	2	15		無	
17	Javaプログラミングの基礎('16) 【1単位】	オンライン	専門	情報	1	15		無	
18	アルゴリズムとプログラミング('16)	R	専門	情報	2	15		無	
19	生活における地理空間情報の活用('16)	T	導入	生活と福祉	2	15		無	
20	問題解決の数理('17)	T	専門	情報/自然と環境	2	15		無	
21	ソーシャルシティ('17)	T	専門	生活と福祉	2	15		無	
22	心理統計法('17)	T	専門	心理と教育/人間と文化	2	15		無	
23	社会統計学入門('18) 社会統計学入門('12)	R	導入	社会と産業	2	15		有	
24	情報セキュリティと情報倫理('18) 情報のセキュリティと倫理('14)	T	専門	情報	2	15		有	
25	解析入門('18) 解析入門('14)	R	専門	自然と環境	2	15		有	
26	経営学概論('18)	R	導入	社会と産業	2	15		無	
27	管理会計('18) 管理会計('14)	R	専門	社会と産業	2	15		有	
28	初級簿記('16)	R	専門	社会と産業	2	15		無	
29	入門微分積分('16) 微分と積分('10)、初歩からの微積分('06)	T	導入	自然と環境	2	15		有	